

センター長 挨拶

IT活用教育センター長
後藤 仁志



豊橋技術科学大学 IT活用教育センター (CITE: Center for IT-based Education) は、情報技術 (Information Technology) を活用した教育を実践・普及させるため授業のデジタルコンテンツ化の支援、ITを用いた学生の学修の習慣化、およびIT活用教育の質向上に取り組んでいます。特に、数理データサイエンス教育の実施と普及活動、学生や教職員のITリテラシーの向上支援、および高等専門学校 (高専) や他大学と連携した協働教育の充実を図るため、教育のDX (Digital Transformation) を推進しています。新型コロナ禍の最中に発足した本センターは、ウィズ/アフターコロナに対応した新しい学修支援や教育支援に取り組み、いつでも、どこでも学ぶことができるTUTサイバーフィジカルキャンパスの実現を目指しています。

お問合せ

IT活用教育センター

メールアドレス cite-support@cite.tut.ac.jp



ヘルプチケット <https://cite.tut.ac.jp/helpdesk>



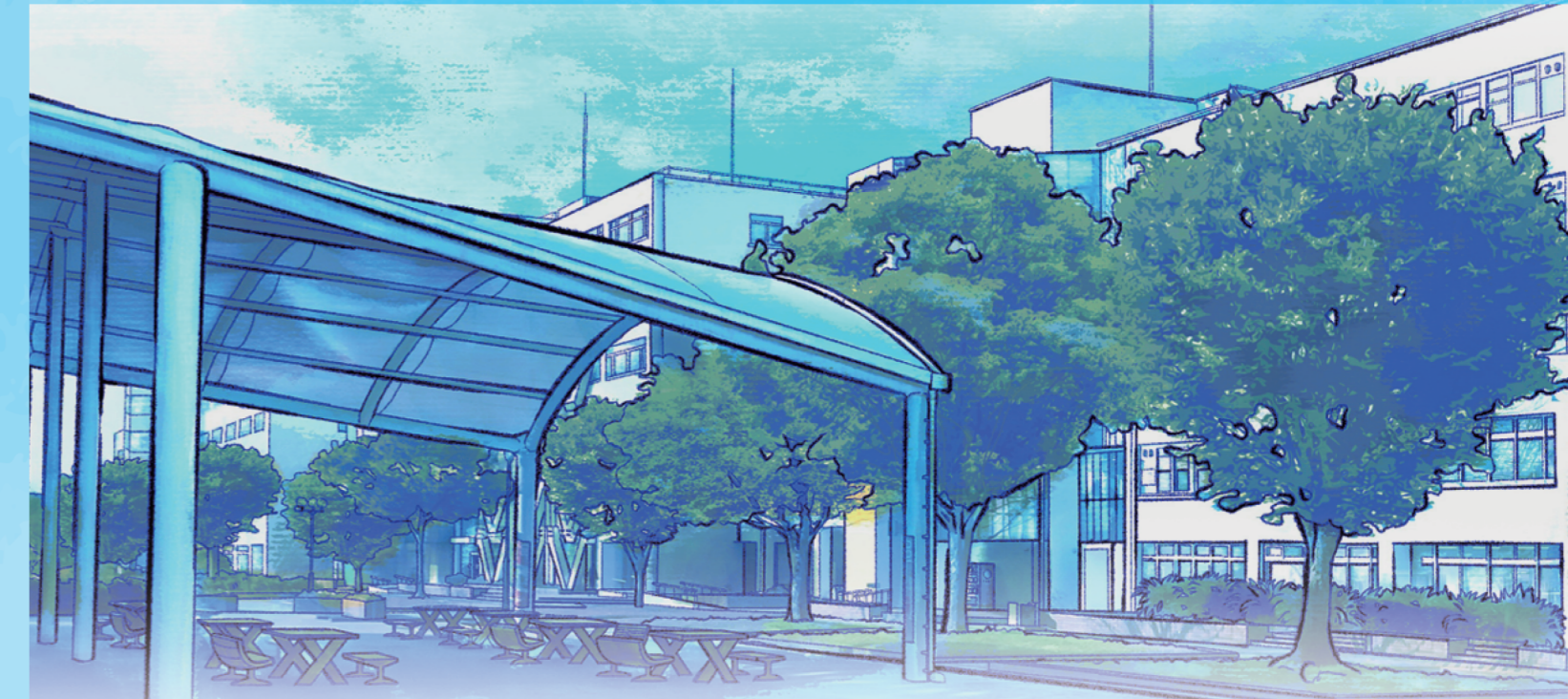
センター概要



情報技術「Information Technology」を活用した教育を実践・普及させるため、授業のDX化の支援、ITを用いた学習の習慣化、およびIT活用教育の質向上を推進しています。本学で開発している遠隔授業は、単にこれまでの授業をネット上に置き換えたものではなく、新しい時代の技術者に必要な問題探索力や問題解決力など「実力」を育てる教育コンテンツです。これらをより効果的に活用してもらうため遠隔授業サポート窓口を開設しています。さらに、最先端データ科学のものづくり技術への定着促進、全国の高等専門学校と連携した教育の実践、地域社会へのリカレント教育の実施など、誰もがいつでも、どこでも学ぶことができるTUTサイバーキャンパス (教育環境) を整備し提供しています。



<https://cite.tut.ac.jp>



IT活用教育センター

Center for IT-based Education



CITEの主な業務



- 1 数理データサイエンス
- 2 デジタル学習支援
- 3 新生向け
モバイルPC・Wi-Fiルーター貸出
- 4 e-HELP

学生向け

詳しくはP.3へ



- 1 デジタル教材開発
- 2 IT活用授業推進

教員向け

詳しくはP.4へ

学生向け



1 数理データサイエンス

内閣府・文部科学省・経済産業省の3府省が連携し、各大学・高等専門学校における数理・データサイエンス・AI教育の取組を奨励するための文科省認定制度「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」に本学の「GIKADAI数理・データサイエンス・AI教育プログラム」の「リテラシーレベル(プラス)」、「応用基礎レベル」が認定されました。



2 デジタル学習支援



学習支援システム

Google Classroom や MoodleといったLMS (Learning Management System) の使用方法ガイダンスを準備し、質問の対応をします。



e-Portfolio

学生・教員間や、学生間のコミュニケーションなどの記録をサポートします。



新生向けガイダンス

新生向けガイダンスやサポートルームを開講し、スムーズにBYODやオンラインでの学習に取り組めるようサポートします。



デジタルリテラシー

Microsoftソフトのマニュアル等を準備し、デジタルデバイスで学習の目的を果たせるようサポートします。



3 新生向け モバイルPC・Wi-Fiルーター 貸出



経済的理由等によってPCや自宅インターネット環境を準備できない学生を対象に、モバイルPC・Wi-Fiルーターの貸出を行います。また、新生に限らずPCの故障や引っ越し等に伴う一時的な貸出希望に対して、同設備の短期貸出(最長1ヶ月)を行います。

希望する学生は以下のフォームから申請してください。
<http://forms.gle/2g79LYUcnDdScn178>



教員向け



1 デジタル教材開発

IT活用教育センター(CITE)では、「多分野融合リメディアル教育シリーズ」を設置し、学び直しや異分野学修のための教材アーカイブを進めています。加えて、学内で実施される講演会やシンポジウムの講演等の教材化(「難題突破指南コース」)の取組を支援しています。本年度から、主としてオンデマンド型オンライン授業のためのデジタル教材、ビデオ教材、およびPBL型実習用教材の開発・評価するためのプロジェクトを公募しています。

2 IT活用授業推進



学習管理システム

Google Classroom や MoodleといったLMS (Learning Management System) の使用方法ガイダンスを準備し、質問の対応をします。



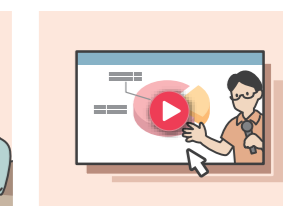
ハイフレックス授業 (設備・使用方法)

ハイフレックス教室の設備や使用方法についてはCITEが担当しています。



デジタル教育支援

XR(Extended Reality)やCPS(Cyber-Physical System)を用いた次世代教授法の開発を支援します。



デジタルライブラリ

講演会、講義を映像として記録し、これらの映像をサーバ上で管理・ライブラリ化することで、本学教職員・学生の教育や研究に役立てています。

4 e-HELP

本学は他大学および高専と単位互換協定を結び、遠隔授業を展開しています。遠隔授業の詳細および配信・受信科目については下記をご覧ください。なお、提供している授業はMoodleを使って学習することができます。遠隔講義による単位互換のコースはMoodle (<https://lms.imc.tut.ac.jp>)で開講されています。

